

広報 なかがま 1月号



あけまして
おめでとう
ございます

年頭にあたって

町議会議長 池田 登



町民の皆様明けましておめでと
うございませう。内外とも
に極めて厳しい諸情勢
ではありますが、ここに
四十九年の新春を迎え、
皆様方の御健勝を心から
喜び申し上げます。私も
町議会一同改選後の新年
をつつがなく迎えること
ができ、改めて皆様方の
御厚情に対し衷心より
感謝申し上げます。顧み
て昨年は「激動の七十年
代」を象徴するように、
国際問題に、また内政面
に大きな変動がみられ、
幾多の重要な課題が四
十九年に持ち越されてお
ります。

九七四年は我が国にと
つても、又本町におきま
しても、さらに大きな試
練の年であると決意を
しております。とりわけ
物価の異状な経済状況、
石油危機に伴う国の総
需要抑制への急激な政
策転換など、その影響、
変化に対処し、本町が
その最大の目標とする
「生活福祉」行政の根
本的方向、すなわち長
浜町長期振興計画を基
調とした住民福祉の基
盤整備並び

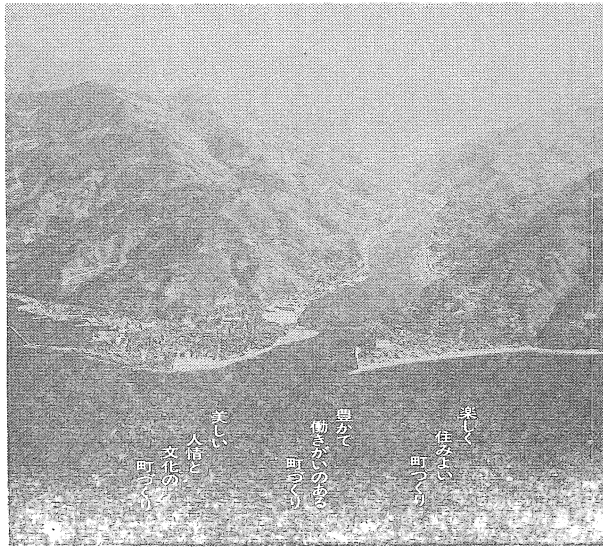
年頭に際して

町長 西田 司



明けましておめでと
うございませう。心気
一新、町民皆様のお栄
えを心からお祝い申し
げます。石油問題を始
め、予想外の経済変動
のきざしの中に暮れた
一九七三年でありまし
たが、明けて七四年、
昭和四十九年は我々日
本民族のすぐれた英知
を結集して明るく希望
に満ちた足どりをたど
る年にしてほしいと思
います。清々しくさわ
やかな正月は、新しい
勇気と希望をふるい起
すすばらしく尊いとき
であることは古今東西
を通じて変わりません。
我が長浜町も公私すべ
ての人々

が日々期待に満ちた歩
みのできる年としなけ
ればならないと考えま
す。特に臨海工業開発
の推進は本町のあらゆる
歴史を大きく変えて
いるその重大な転換期
にさしかかって参ります。
すべてに調和のとれた
楽しい町、豊かな町、
美しい町にするための
努力が特に大切な年
になるで、自由、自由
に行動する楽しさ、尊
さを常に確保し



たいものでありますが、
その最良の自由の維持
確保には大きな努力
と、お互いが一心同
体になれる心の触れ
合い、温かい思いや
りが必要であることを
銘記しておかなけれ
ばなりません。

物資不足、物価高が
叫ばれ、ともすると
心が物に振り回され
ようとする今日この
ころを考えてみま
すと、今年には特に
美しい人情、お互い
の心の通いを大切
にしなければなら
ないのではないかと
思います。そして乱
れず着実に歩みの中
に明日の長浜町を
飛躍的な発展へ導
くよう心機を一転
させようではありません
か。私にとっては任
期最後の一年であり、
特別の感慨をもって
皆様のすこやかな御
繁栄を願ひ、悔いの
ない我が職責の遂行
を決意し、心一杯に
この新年を祝いたい
と念願する次第であ
ります。

地域開発計画の問題
が最も重要な段階に
あると考えますとき、
この計画推進の意
義は、ただ長浜町
だけでなく、周辺
地域の限らない振
興発展のためにも
大きいものがあると
存じます。私も
議会は、町理事
者もろんなこと
と、町民の皆様
と一体になり、い
かなる険しい局面
をも英知と勇気
を結集し、努力
を傾注して、昭和
四十九年が本町
将来の躍進と希望
に満ちたより豊
かな郷土づくり、
心豊かな人づく
りへの意義ある年
であることを願
ひいたします。共
に、皆様御一家
の御繁栄と御多
幸を心からお祈
り申し上げます。
年頭に際し今
後一層、町民
皆様方の御支
援と御協力を
切にお願い申
上げまして、
町議会議長
を代表し新年
のごあいさつ
いたします。



おしらせ

児童手当支給 範囲広がる

一月から受付

昭和四十九年四月一日から児童
手当の支給範囲が広が
り、十八才未満の児童を三人以上養
育（一人以上は義務教育終了前の
児童がいることが条件）している
人に児童手当が支給されること
になりました（これまでは十才未
満）。一月から受付を始
めます。くわしくは役場住民課へ。

ごぞんじですか？

つぎのような手当や年金制度が
実施されていますが、御存知ない
方が多いようです。ソ
ンなざらに、くわしくは役場
住民課へ。

○児童扶養手当

父親と生活を共にできない児
童についてその児童を監護する母
もしくは養育者には手当が支給さ
れます。

○特別児童扶養手当

重度の障害を有するために日常
生活に常時介護を要する二十才未
満の児童を家庭において養育して
いる家庭には手当が支給されま
す。

○心身障害者扶養共済制 度

保護者が毎月掛金を支払うこと
により保護者が死亡、廃疾した場
合、障害者に対し終生年金が支給
されます（加入資格は心身障害者
を扶養している四十五才未満の
人。）

レポート 11月

北海道から研修生

慣れぬ傾斜地でミカン摘み

一行は二十八日長浜入りまず中央公民館で

『イヤーまいったまいった』
28日～12月2日 町では、これからの長浜町を背負う町内在住の勤労青年に、県外の生活、産業、教育、文化を見て頂き、地域振興に役立てて頂くというねらいのもとに、昨年「勤労青年国内研修」を実施しており、昨年と今年とは東北・北海道方面への研修を実施したが、二十八日、こんどはそのときの研修地である北海道河東郡の勤労青年国内研修生の一行三十四人が、主にミカン農家を中心とした長浜町の農業を研修するため、十二月二日まで滞在し、ミカン農家やシイタケ栽培農家に民宿して実習するとともに、町内の青年たちとの交換を通して研修し



「急坂や狭い畑での仕事は初めだが、よい経験」……と。
(今坊・津田龍雄さんのミカン園で)

増田助役らからの観迎のあいさつ、長浜町の農家の実情などを聞いたあと、町内のミカンやシイタケ農家など十七戸(平均一戸に二人)に分散民宿して実施研修をした。
今坊のミカン農家・津田龍雄さん方に民宿した一研修生は、「平たん地でしか仕事したことがないので、足もとが大変だね」「こんなに一つ一つ手を使ってする仕事は余りないので、予想以上に大変だ、マイツタよ」と言っていた。
また、出海のミカン農家・井上勉さん方に民宿した研修生のひとり、この十町と、北海道の一畝の収益が同じくらいですな」と、面積の割合いでみる生産性の高さに感心していた。

レポート

この欄は別記レポート以外のものを日にち順に簡単に報告したもの。保健衛生事業は省く。

過去をみて

現在を考え

未来を豊かなものに

1日：白滝地区で第二次林業構造改善事業の説明会開く。

2日：①豊茂地区敬老会行方。対象者九十四人のうち約六十人出席(出席率約六四割)②豊茂地区で第二次林業構造改善事業説明会開く。

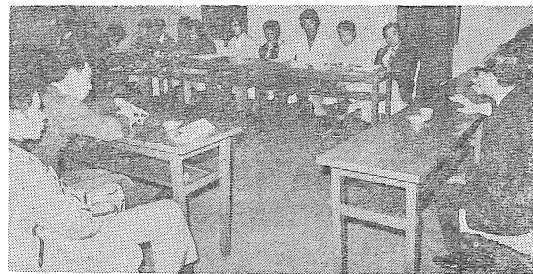
5日：①長浜町議会が町管理施設を視察②定例の民生委員会開き独居老人対策や重度心身障害児家庭の訪問を行うことなどについて協議③長浜町防犯相談所長会開き少年の非行化防止について協議④榊生地区で第二次農業構造改善事業の説明会開く。

7日：①長浜町職員資格試験の面接試験行方。二十九人受験②山口県東和町教育委員五人が長浜中学校を視察。

8日：①長浜町PTA連合会の評議員会開き、給食施設設置の推進方法など協議すると共に、宇和町給食センターの視察やPTA研究会に出席しての反省を行う

9日：①白滝地区三老人クラブ秋季総会開き、今年度上半期の経過報告をもとに意見を交換②青年大学開く。同大学生五十五人のうち二十二人出席。経済成長と国民生活について学習③大和公民館の部落館長研修会開き、公民館活動と生涯教育についてなど研修。

12日：①長浜町老人家庭相談員の会開き、独居老人の事故防止について協議検討②長浜幼児学級開



27日…青年団主催の町政懇談会開く
将来の長浜、今後の農業問題に話題が集中していた

約二十五人出席。幼児の心理について学習。
31日：①町内の上水道の配水管敷設替え工事及び新設工事の入札行方。②米の生産調整打合せ開き、経過報告を行うと共に今後の現地確認についてなど協議。
14日：白滝保育所母の会講演会開く。五十人出席。
15日：長浜公民館の部落館長研修会開く。部落館活動推進について研究討議。
16日：①長浜町読書推進研究大

会開く。約二百五十人参加。読書グループをどのようにしてつくるか・親子読書をすすめるにはどうしたらよいか・これからはどんな本を読んだらよいかの三点をテーマに研究討議行方②長浜婦人学級開く。二十六人出席。電気器具の選び方、安全で上手な電気の使用方について学習③町内の事業所を対象に、源泉徴収手当調整の説明会開く。
23日：白滝るり姫祭り開催。約三千人の人出でにぎわう。
26日：①山口県の町村長が長浜町社会福祉協議会の活動状況など視察のため来町②文化財専門委員会開き、戒川の三島神社周辺の樹木及び草、及び同地区榎谷にあつた道しるべの文化財指定について検討、その結果、具体的な調査を行い、その結果により決定するよう決まる③長浜町農業委員会開く。

27日：①老人ホーム白山園のお年寄り約二十人を一般家庭や公民館に招き「敬老の家」を実施②長浜町連合青年団が町政懇談会開く。団員約四十人出席。町から増田助役出席③長浜中学校集団カゼ発生のため午後から二十九日まで休校。
28日：柴家庭教育学級開く。婦人ら約二十人出席。純潔教育について学習。
29日：①長浜町商工課長、大洲市観光課長、双海町開発課長の三者で、壺神山(戒川)の観光開発について協議。その結果、壺神山開発協議会(仮称)といったものをつくらせて、同地の観光開発を行うことに決まる②長浜小学校集団カゼ発生のため、午後から十二月二日まで休校。
その他：十一月の心配ごと相談所利用者一人。

表彰

“みごと”

農林大臣賞

上田さんの シイタケ



表彰状を手に喜びの上田さん

豊茂の上田虎雄さん(五二)の出品したシイタケが、去る五月二十一日、松山市で開かれた「愛媛県しいたけ共進会」で、みごと最高賞「農林大臣賞」に入賞。十一月二十三日東京の明治神宮でおこなわれた「いにしめ祭典」での受賞式の席上、桜内農林大臣から表彰された。

表彰のあと、各県の受賞者とともに県下ではただ一人、農林大臣ら出席のもとに開かれる「集荷を感謝する集い」や、皇居参観などへの招待を受け出席された。

上田さんは、去る五月八日に開いた「長浜町シイタケ共進会」に出品したシイタケ(こうしんの部)が特賞となり、長浜町代表で県共進会に出品し、同賞に輝いたもの。

池田さんら32人
— 献血協力で —
【日本赤十字社表彰】
献血10回以上
池田帝子(長浜)、井上清(黒田)、植杉岳志(楠生)、二宮幸則、渡辺スミエ(以上下須戒)、児玉俊二(白滝)。

【愛媛県知事表彰】
献血5回以上
山本 太、林 悦子、矢野シズカ、吉岡節子、石本紀美子、宮本啓子、尾上真也(以上長浜)、東正一、東 満子、石田辰見(以上黒田)、明智恵子、浪本忠則、岡本英子(以上沖浦)、松本嘉久、

山田ミサ子、西村 健(以上上海)、下田容子(下須戒)、菊地洋一(穂積)、叶 義幸(上老松)、亀田哲久、松田吉幸、増田勝敏(以上豊茂)、成田篤泰、日野友義、窪 エミ、新 鈴子(以上白滝)

寄付

○白滝保育所後援会：野菜調理機(四万二千円) 一台を白滝保育所へ。

結婚



11月長浜町役場届出分(敬称略)



11日のトップは木下新一さんと石岡笑子さんのカップル

住 氏名・婚姻届時年齢
長浜 木下新一(二五)
保内町 石岡笑子(二九)
長浜 清水敏一(二九)
今長 築地重純(二二)
長浜 矢間純己(二三)
下須戒 真谷道雄(二三)
松山市 真田道代(二三)

訂正 本紙十一月号の八ページの「寄付」の欄で、○仁久の佐伯富士夫さん(四二)友石甫さん(四二)、今治市在住(仁久出身)の島田寅男さん(四九)：「長浜分団第二部ポンプ蔵置所敷地に」と、土地十七・五六平方尺を町へとお知らせしていましたが、これは寄付者名が、「仁久地区(一区・二区・三区)」の誤りでした。御訂正ください。

お誕生おめでとう!!
11月届出分(敬称略)
住 氏名
長浜 保護者氏名 続柄 児名
田 淵嘉太郎 三男 祐一

おくやみ
11月届出分(敬称略)
住 氏名・死亡時年齢
長浜 小谷 喜吉(五七)
長浜 石岡コモト(八九)
長浜 石丸 トリ(八四)
長浜 泉 久治郎(八五)
沖浦 宮田善一郎(七九)
今長 中田 重昌(四四)
今長 濱田フユノ(七七)
須賀 富田ミスエ(七五)
白滝 大塚 好子(四九)

人口世帯数

楽しく住みよい町・豊かで働きがいのある町
・美しい人情と文化の町一をつくり、人口をふやしましょう。

	12月1日現在	前月との比較
人口	14,115人 (男6,686人 女7,429人)	4人減 (4人増 8人減)
世帯数	3,968世帯	7世帯減



楽は苦の種 苦は楽の種、楽の終わったところが苦であり、苦の終わったところが楽であることは少し物を考える人なら誰でも気づく人生の常態である▲明けて昭和49年、四十九は「始終苦」とか「死+苦」とかこじつけて忌み嫌う習慣があるが、諸行は無常、永遠の楽もなければ永遠の苦があるはずもない。永遠に苦しみが続くという無間地獄も、永遠の楽しみが与えられるという天国や極楽浄土も人間が勝手に描きだした幻に過ぎまい▲新年を迎えてこのことが分っただけでもお正月の意義はまことに大きかったとすることができようが、さらにもう一步進めて考えて見てはどうか。あらゆる苦しみはこうありたいと心にきめておる目標を実現するための努力に置き替えて見よう。人一倍の努力は一応は苦しくとも大願成就の喜びを前提とした楽しみを秘めた苦勞である▲あなた任せの無目的な生活を送るものにはこの苦しみを楽しみに変えるすべはない。それは目的と計画を持つ者だけの特権である。ここに一年の計は元旦にありという大きな意義があらためて見直されるではないか▲四十九年を始終楽年に置きなおして、物資不足も物価高も吹き飛ばしてみようではないか。